

Team Le Mans

2019年 SUPER GTシリーズ
Round.3 鈴鹿サーキットレースレポート

#6 **LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S**

WAKO'S 4CR LC500

Kazuya OSHIMA

Kenta YAMASHITA



大会概要

2019年スーパーGTシリーズ 第3戦

大会名称

2019 AUTOBACS SUPER GT Round 3 SUZUKA GT 300km RACE

開催日時

5月25日 土曜 (予選) 5月26日 日曜 (決勝)

開催サーキット

鈴鹿サーキット 国際レーシングコース (フルコース 1周 5.807km) 所在地: 三重県鈴鹿市稲生町7992

同時開催レースカテゴリー

- ・2019 FIA-F4選手権 第5戦&第6戦 ・ポルシェ カレラ カップ ジャパン 2019 第5戦&第6戦
- ・ポルシェ カレラ カップ アジア 2019 第2戦&第3戦 (※決勝レースはジャパンとの混走)

主催

株式会社モビリティランド / 関西スポーツカークラブ (KSCC) / 鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)

公認

国際自動車連盟 (FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)

認定

株式会社GTアソシエーション (GTA) / ポルシェ カレラ カップ ジャパン 委員会 (PCCJ委員会)

後援

経済産業省 / 国土交通省 / 自由民主党モータースポーツ振興議員連盟 / 三重県 / 鈴鹿市
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 / 一般社団法人鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所



◆ #6 LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S 参戦体制

■ ドライバー



大嶋 和也
KAZUYA OSHIMA

生年月日 1987年4月30日
出身地 群馬県
身長 171cm
体重 61kg
血液型 RH+A

■ 監督



脇阪 寿一
JUICHI WAKISAKA

生年月日 1972年7月29日
出身地 奈良県
身長 177cm
体重 63kg
血液型 RH+AB



山下 健太
KENTA YAMASHITA

生年月日 1995年8月3日
出身地 千葉県
身長 175cm
体重 63kg
血液型 RH+AB

■ スタッフ

チーフエンジニア 阿部 和也
チーフメカニック 寺尾 由貴

■ スポンサー

株式会社和光ケミカル	株式会社ニチネン	トヨタカスタマイジング&ディベロップメント株式会社
株式会社前田シェルサービス	引田時計店	トヨタ・ヤング・ドライバーズ・プログラム
株式会社オウルテック	広島化成株式会社	トヨタ自動車株式会社
DMG森精機株式会社	エンバイヤ自動車株式会社	株式会社ブリジストン
株式会社三笠製作所	株式会社不二WPC	
林テレンプ株式会社	リンテック株式会社	
株式会社タミヤ	株式会社アシックスジャパン	



◆ 予 選

天気	晴れ
コース状況	ドライ
気温	28度（GT500クラスQ1開始時）
路面温度	41度（GT500クラスQ1開始時）
予選開始	15時09分（GT500クラスQ1開始）



SUPER GTシリーズ第3戦、舞台は晩春～初夏の鈴鹿サーキットである。鈴鹿戦は昨年から5月開催となり、レース距離が通常の300kmとなった。全国的に季節外れの暑さとなった5月の第四週末、鈴鹿サーキットも予想以上の暑さに見舞われた。激しいタイヤ戦争もあるSUPER GTにおいては温度条件が戦況に大きな影響をもたらすことも。つまり、事前予測と実際のコンディションが乖離した陣営は難しい戦いを強いられるわけだが、それもSUPER GTの面白さのひとつだ。熱暑の第3戦、今季開幕からの2戦が満足できる成績ではなかったLEXUS TEAM LEMANS WAKO'Sとしては、そのぶんウエイトハンデ（獲得ポイント×2kg）が6kgと軽いことも活かし、ここを浮上の契機としたいところ。王座へ向けて挽回開始である。

#6 WAKO'S 4CR LC500

予選結果：5位（予選Q1ベストタイム：1分46秒144／山下選手）
 （予選Q2ベストタイム：1分46秒246／大嶋選手）

2段階ノックアウト方式の予選には、Q1を山下、Q2を大嶋が受け持つオーダーを組んで臨んだ。GT300クラスのQ1で赤旗中断があった関係でGT500クラスのQ1は当初予定より9分遅れで始まった。まずQ1、山下は1分46秒144をマークし、2番手でQ2進出を決める。続くQ2では大嶋が1分46秒246のタイムで予選5位を得た。決勝での表彰台獲得、優勝争いに向けて好位置確保である。チームは翌日に向けて万全の調整を進める。



◆ 決 勝

天気	曇り
コース状況	ドライ
気温	29度（スタート時）
路面温度	42度（スタート時）
決勝レース開始	14時30分
レース周回数	52周（約300km）



#6 WAKO'S 4CR LC500（大嶋和也選手&山下健太選手）

決勝結果：3位（所要時間：1時間47分32秒140／ベストラップ：1分50秒518＝山下選手）

サーキット公式発表の天候こそ曇りだが、決勝日も鈴鹿は暑くなった。#6 WAKO'S 4CR LC500は山下が前半を、大嶋が後半を担う布陣で戦う。

山下はまずスタート位置の5番手をキープしてレースを始め、5周目を終わるところで4番手、さらに7周目には3番手へとポジションアップ。この時点でトップ36号車とは4秒前後の差、山下はいいペースで走り続け、前の37号車に迫っていく。すると上位が18周目を走っているとき、後方で発生したアクシデントにより、セーフティカー（SC）導入に。そしてこのSCが22周終了で撤収し、22～24周終了時のどこかでGT500クラスのほとんどのマシンがルーティンのピットストップをこなす流れとなる。#6 WAKO'S 4CR LC500は23周終了時にピットイン。

交代した大嶋が1周してきたところで、24周終了時にピットストップを終えた37号車が前に出てくる。大嶋はこれをパスして実質2番手へと上昇。ここからレースはレクサス勢3台による接近した優勝争いとなった。大嶋は一時37号車に先行を許すも、すぐにポジションを戻し、36号車を追う。懸命に攻撃を続けた大嶋だが、惜しくも36号車からトップを奪取することは叶わず。そしてレース終盤は37号車を相手に2番手を守る戦いとなる。49周目、GT300クラスの集団のなかで37号車にパスを許し3番手に後退。#6 WAKO'S 4CR LC500はそのまま3位でゴールすることとなった。

今季初表彰台獲得。しかし優勝が目前に見えていただけに、チーム全体として悔しさの方が大きい。次のチャンスでこそ、必ずや勝利を果たしたい。



大嶋和也選手のコメント

速く走ることはできましたし、ピット作業も良かったです。トップに立てるチャンスが何度かあったんですけど、決め切れなかったのは悔しいですね。僕自身は悔しさの方が大きいですが、久しぶりの表彰台獲得ですから、応援してくれているみなさんが喜んでくれていることは良かったと思います。次のタイ戦は得意な舞台、(タイトル争いに向けて)取りこぼさないようにしたいです。ハンデ28kgならまだチャンス(勝機)もあるでしょうしね。

山下健太選手のコメント

手応えはあったレースですし、勝てそうな雰囲気だっただけに3位という結果はやはり悔しいです。前2台が同じマシンというのも悔しいですよ。次のタイはチーム的に得意(去年2位)で、僕自身も(移籍前の)去年は3位になっていますから、ライバルにはハンデの軽いマシンもいますが、戦えるだろうと思います。とにかく今年はタイも含めたどこかで必ず勝ちたい、そう思っています。そしてそれが実現できそうな感触はあります。

阿部和也エンジニアのコメント

持ち込みのセットアップはまずまずで、その後のアジャストがうまくいったと思います。ソフトめなタイヤをチョイスすることもできましたからね。ピット作業を含めチーム全体としていいレースではあったと思いますが、こういうときに勝ち切らないといけませんので、やはり今は悔しいですね。

脇阪寿一監督のコメント

ものすごく悔しいです。こういう(いい内容の)レースができるところまで今年のチームがまとまってきていることはもちろん喜ばしいですし、今年チームに加わってくれた阿部エンジニアと一緒にマシンを速くできていることも嬉しいですね。ブリヂストンタイヤもやはり素晴らしいです。3位表彰台という結果は喜ばないといけませんが、チームがずっと追い求めてきたこと(勝利)を考えると、悔しさの方が大きくなりますね。

スタッフもドライバーも皆、悔しい顔をしてきています。そういう気持ちでこういうレースを続けていければ、必ずまたチャンスはあると思います。次のタイはチームが得意としていますし、ウエイトハンデ的にも戦える範囲だと思っていますので、またしっかり頑張ります。応援よろしくをお願いします。

シリーズランキング

大嶋和也&山下健太 6位 / 14ポイント
チーム部門 7位 / 22ポイント



◆その他サーキット内イベント報告

◆観客動員数

開催期間中 延べ入場者数 約57,000人

5月25日 土曜 (予選日 天気:晴れ) 21,000人

5月26日 日曜 (決勝日 天気:曇り) 36,000人

◆ピットウォーク

開催日程 5月25日 12:20~13:05

5月26日 9:50~10:35

◆キッズウォーク

開催日程 5月25日 17:25~18:15

主催 GTアソシエーション、鈴鹿サーキット

参加者 大嶋和也、山下健太

ピットロード開放エリアにて握手&サイン会、撮影会、グッズ提供等を行ない、今回も沢山のお客様をお迎えすることが出来ました。決勝レース開始前にはグリッドウォークも実施されています。

